

TOTO

床排水・壁排水便器

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。

1 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

施工の前にこの「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「禁止」を示します。		は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。
--	----------------------------------	--	---------------------------------------

⚠️ 注意	
	陶器に強い力や衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
	設置工事は、この説明書に従って確実に 行う 故障や水漏れの原因になります。

2 部品の確認

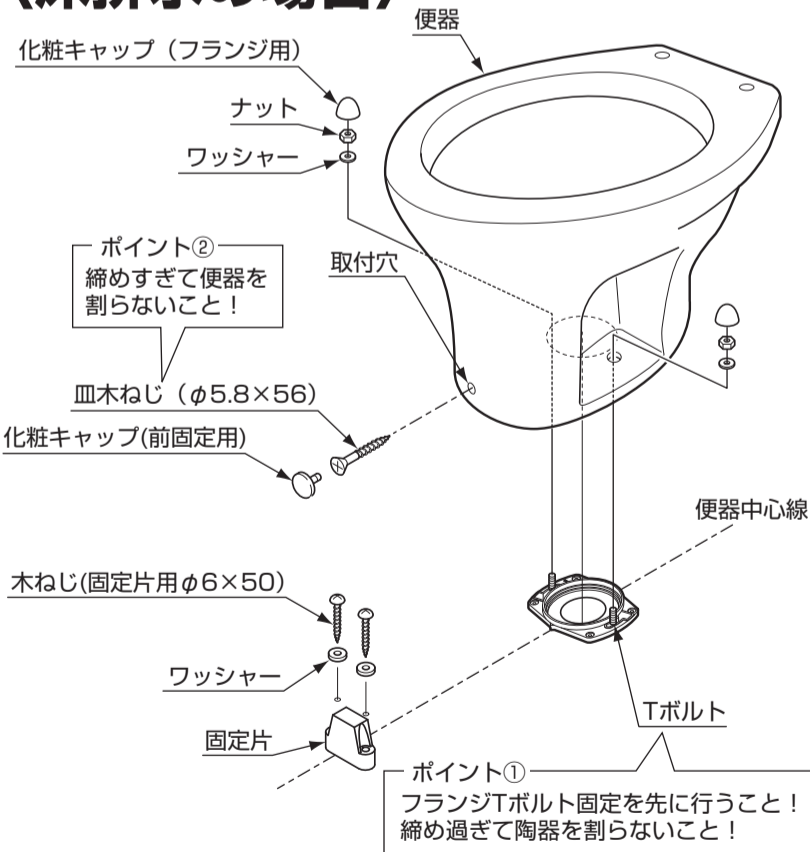
※部品があるか、下表を参照して確認してください。

名称	個数	略図	備考
便器	1個		床もしくは床上排水
施工説明書	1部	本紙	
固定片	1個		
皿木ねじ	1本		十字穴付き皿木ねじ (φ5.8×56)
木ねじ (固定片用)	2本		十字穴付きタッピンねじ 4種 (φ6×50)
ワッシャー	2枚		
化粧キャップ (前固定用)	1個		
化粧キャップ (フランジ用)	2個		
便器取付木ねじ	2本		(φ6.2×63)
ワッシャー	2枚		
化粧キャップ (前固定用)	1個		
化粧キャップ (後固定用)	2個		
接続パッキン	1個		

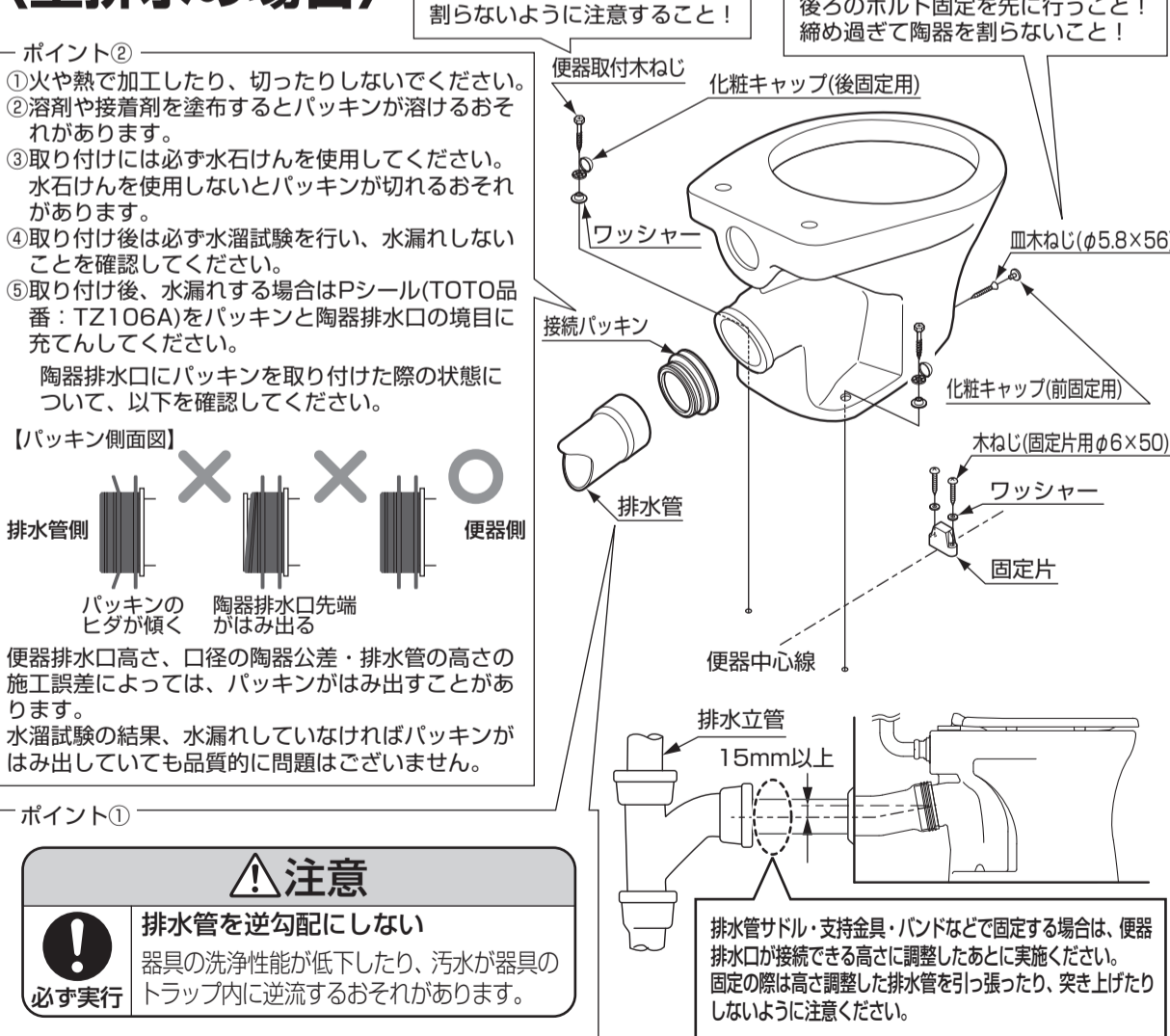
注：床排水用フランジHP430-1(100塩ビ管用)・HP430-7(75塩ビ管用)もしくはT53WR100(100鉛管用)・T53WR75(75鉛管用)は別発注になります。

3 各部の名称と施工のポイント(便器)

床排水の場合



壁排水の場合



〈TOTOユニットバスへの組立の場合は下記に従って施工してください。〉 ※TOTOユニットバス以外のユニットバスおよび浴室には、転倒によるけがや水漏れのおそれがあるため設置できません。

- 新規組立時
TOTOユニットバス組立図面集・組立要領書を参照ください。
- 便器交換時 (交換前の便器に固定片がない場合) ※便器にガタつきがある場合はライナーにて調節してください。
- ①固定片は使用しない (木ねじの固定により支障をきたすおそれがあるためです)
- ②便器前方穴に化粧キャップをシリコンなどで取り付ける (穴をふさぐためです)

4 施工要領

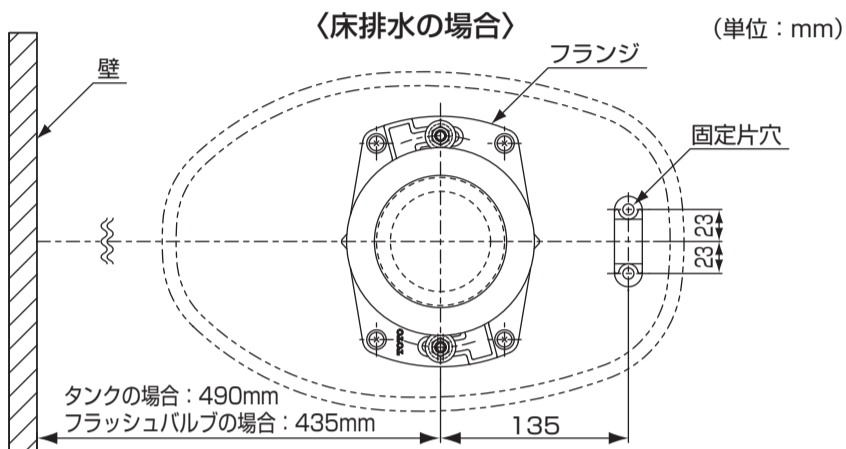
1 スパッドの取り付け

■便器にスパッド(タンクの場合：T82C38、フラッシュバルブの場合：T82CR32)を取り付ける。
 スパッドの取付方法はスパッド付属の施工説明書をご覧ください。

2 便器の取り付け

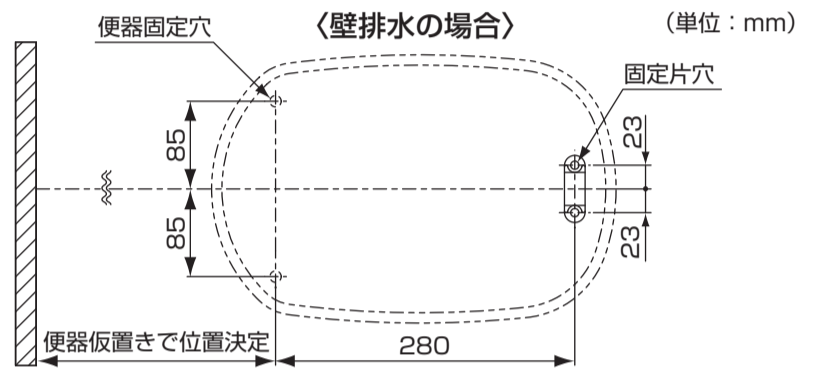
〈床排水の場合〉

- ①便器中心線をけがき、別売りの床排水フランジを取り付ける。
 ※床排水フランジの取付方法は床フランジ付属の施工説明書をご覧ください。
- ②便器中心線上に、固定片の位置をけがき、固定片を木ねじ(固定片用)で床に固定する。
- ③便器を床排水フランジに接続し、便器後方をナットで締め付け固定する。
 ※ナットを強く締めすぎて便器を割らないようにご注意ください。
- ④皿木ねじを便器正面の取付穴から固定片にねじ込み、便器を固定する。
 ※皿木ねじを強く締めすぎて便器を割らないようにご注意ください。



〈壁排水の場合〉

- ※便器排水口高さには寸法許容差がありますので、排水管設置の際は排水管位置を便器排水口高さに調整後、本固定を行ってください。
- ①排水の接続が所定の位置になるように便器を仮置きし、便器取付木ねじの位置をけがく。
 ※このとき、便器中心線と便器の中心がほぼ一致するようにご注意ください。
 - ②便器をはずし、便器取付木ねじの位置を基準に便器中心線上に、固定片位置をけがく。
 - ③固定片を木ねじ(固定片用)で床に固定する。
 - ④便器排水口に接続パッキンを取り付ける。
 - ⑤便器を排水管に差し込み、便器取付木ねじで床に固定する。
 ※便器取付木ねじを強く締めすぎて便器を割らないようにご注意ください。
 - ⑥皿木ねじを便器正面の取付穴から固定片にねじ込み、便器を固定する。
 ※皿木ねじを強く締めすぎて便器を割らないようにご注意ください。



注意

排水管を逆勾配にしない
 器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

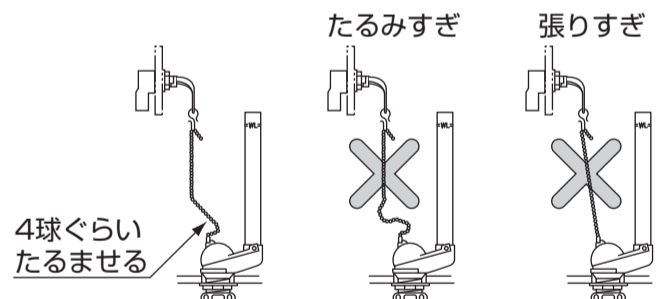
タンクの場合 ⇒ 3 へ

フラッシュバルブの場合 ⇒ 4 へ

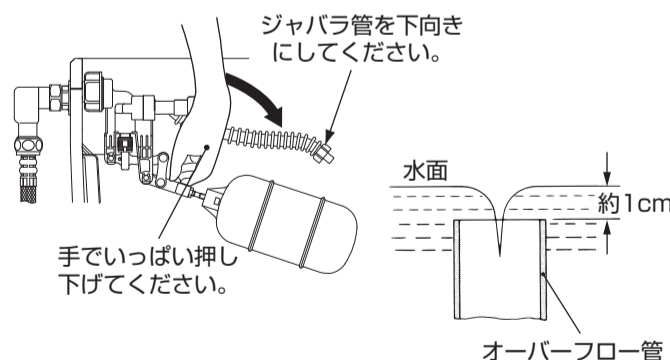
3 タンクおよび洗浄管の取り付け(タンクの場合)

- ①右図を参照してタンクおよび洗浄管を取り付ける。
 ※タンク取付木ねじを強く締めすぎて便器を割らないようにご注意ください。

- ②下図を参照して鎖を取り付ける。



- ③浮玉を押し下げオーバーフロー管内へ水をあふれさせ、水面がオーバーフロー管上端より1cm以上上昇しない程度に止水栓を調整する。



注意

止水栓の開度を調整する
 ボールタップの故障で水が止まらない場合、タンクから水があふれるおそれがあります。

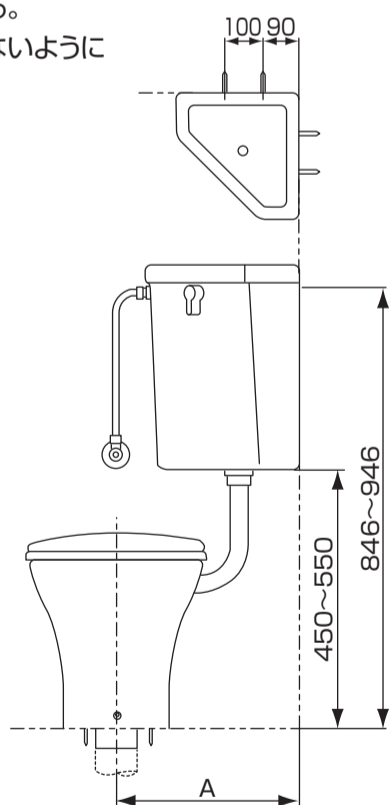
注意

タンク固定位置に十分な下地の厚さ、および補強があることを確認する
 下地に十分な厚み・補強がないと、タンクが外れたり、壁が壊れたりするおそれがあります。

洗浄管には下表の2タイプがあります。
 トイレのスペースにあわせてお選びください。

品番	A(最大)
TS171DJ	400
TS173D	600

(単位:mm)



4 フラッシュバルブの取り付け(フラッシュバルブの場合)

- フラッシュバルブを取り付ける。
 フラッシュバルブの取付方法はフラッシュバルブ付属の施工説明書をご覧ください。
- ※フラッシュバルブ(マニュアル式)の場合は、大洗浄8Lに調整ください。オートクリーンCの場合は、大洗浄8L/小洗浄6Lに調整ください。
- ※シートペーパー使用時に流れが悪く、シートペーパーまたは汚物が残るときはフラッシュバルブの開閉ねじや水量調整ねじを回して水勢を強くしたり、水量を増やして確実に排出するようにしてください。

5 取り付け完了後の確認

- 取り付け完了後、2~3度洗浄させて、便器・タンク・洗浄管各部からの水漏れなどの異常がないことを確認する。
 ※補修のため洗浄管を取り外す場合は、陶器および洗浄管から残水が流れ出てきますので、バケツなどで受けてください。